

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2025年12月22日（月）13時30分～15時30分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：太田耕司、長尾透、深川美里、永井洋、勝川行雄、美濃和陽典、鈴木竜二、安東正樹*、
日下部展彦、和泉究、新沼浩太郎、米原厚憲、本田充彦、寺田幸功、新永浩子、山村一誠

欠席理事：大朝由美子

出席監事：熊谷紫麻見

欠席監事：中村文隆

（*は途中から出席）

また、一丸事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が15名（開始時点）で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 太田会長、深川副会長、長尾副会長、熊谷監事が署名人となることを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2025年9月5日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

本理事会の各議題は、太田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 新規加入者の承認（資料3、勝川）

2025年8月30日～2025年12月16日までに正会員入会申請94名、準会員入会申請16名、準会員から正会員への移籍1名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 外部相談窓口設置の承認（資料4、長尾）

外部相談窓口を2026年度から試行として設置をすること、外部相談窓口の対応範囲と暫定的な相談のフローについて説明がなされた。代議員の中で内部相談窓口の検討がされていることについても紹介された。外部相談窓口の設置について、賛成多数で承認された。

II-3. 若手国際交流研究会基金 内規・財務規程・選考委員会の承認（資料5、太田）

河合誠之氏からの寄付により、日本天文学会若手国際交流研究会基金が提案され、基金内規、財務規程、若手国際交流研究会選考委員会の発足時の委員構成案が示された。内規、財務規程、委員構成が賛成多数で承認された。

II-4. 公益社団法人日本天文学会2026年度事業計画の承認（資料6、永井）

2026年度（2026年4月1日～2027年3月31日）事業計画書が提示され、次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-5. 公益社団法人日本天文学会2026年度予算案の承認（資料7、美濃和）

2026年度（2026年4月1日～2027年3月31日）予算案が提示され、次の代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-6. 衛星設計コンテスト推進委員追加の承認（資料 8、太田）

衛星設計コンテスト推進委員会の委員に中川貴雄氏 1 名を追加することが提案され、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料 3、勝川）

2025 年 8 月 30 日～2025 年 12 月 16 日までに正会員 6 名、準会員 3 名の退会があったことが報告された。

III-2. 男女共同参画委員会からの報告（資料なし、新永）

日本天文学会が正式加盟学協会として加盟している男女共同参画学協会連絡会において、幹事学協会を引き受けられるかのアンケートが実施された。これに対して、日本天文学会としては数年以内に引き受けるのは難しいと回答したこと、また次年度は日本地球惑星科学連合が幹事学協会となることが報告された。天文教育委員会と共同で、女子中高生夏の学校に参加し、天文学の魅力について発信したこと、今後より機会を増やすことが検討されていることが報告された。

III-3. 監事（外部監事として）の追加について（資料 9、勝川）

外部監事として監事 1 名を追加することを、代議員総会に提案することが報告された。

III-4. 第 9 期日本天文学会代議員選挙 開票結果報告（資料 10、永井）

第 9 期代議員選挙の開票結果が報告された。天文月報 2 月号に掲載されてから通知されることが確認された。

III-5. 日本天文学会遊休財産の推移予測（資料 11、美濃和）

学会の運営コスト増へ対応するため、月報印刷版の段階的な廃止などの対応策を含めた遊休財産の推移予測が報告された。年会新投稿システムへの対応のため、年会参加費を増額する可能性などについて議論がなされた。

III-5. 年会実行委員会からの報告（資料 12、和泉）

2026 年春季年会（京都産業大学）では、ジュニアセッション、天文教育フォーラム、公開講演会、記者発表、企画セッション 3 件を開催すること、ベストエフォートでのハイブリッド対応をすること、講演応募数 627 件であることが報告された。また、新しい年会システムへの対応状況について報告された。予稿集紙版の廃止に向けた周知を進めるとともに、2026 年秋季年会での実装のために 1 月末までに業者契約を目指すことが報告された。新しい年会システムは予稿投稿が主だが、参加費徴収も含まれることが確認された。予稿集紙版廃止にとともに、従来の紙媒体での広告掲載がなくなることにに対して、特に異論は出ていないこと、年会新システムの契約では、同じ業者と継続契約することで以降の初期導入費を抑えられる可能性があることが共有された。

III-6. PASJ からの報告（資料 13、安東）

9 月に XRISM 初期成果の特集が掲載されたこと、「高感度ライブカメラ新時代による流星科学」の特集論文が 2 月に掲載予定であることが報告された。あわせて、掲載料半額キャンペーンによって、投稿数が増加したことが報告された。2026 年 1 月の代議員総会の議題として提案

のあった論文出版費について意見交換を行った。オープンアクセスの流れの中で論文出版費が高騰している状況に対して、日本天文学会としてどう対応できるか意見交換を行った。

III-7. 天文教育委員会からの報告（資料 14、大朝に代わり永井が報告）

2025 年春季年会にて、日本天文教育普及研究会と共催で行う天文教育フォーラムのテーマが「デジタル教材+生成 AI 時代の天文教育」であること、講師紹介プログラムに 1 件、監修者紹介プログラムに 3 件の紹介を行ったこと、2026 年春季年会のジュニアセッションと合わせて「中高生・教員と若手研究者の「天文対話」第三回」を開催すること、IAU OAE の活動に参加していることなどが報告された。

III-8. 各事業の報告（各担当理事）

日下部月報理事よりオーラル・ヒストリーについて今年度のまとめの記事を依頼していること、山村ジュニアセッション担当理事より、春季年会最終日にジュニアセッションを開催するため開催地理事と協力して準備を進めていること、発表申込数が近年と比べて 10 件程度増えていること、米原、本田、寺田の各年会開催地理事より今後の年会の準備状況、がそれぞれ報告された。

III-9. 事務所近況報告（一丸）

2025 年 10 月 25 日の三鷹キャンパス特別公開にて、月報バックナンバーの配付、メシエポスターの販売を行ったことが報告された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2025 年 9 月 5 日）議事録（案）

資料 3 加入者・移籍の承認、退会者報告（2025 年 8 月 30 日—2025 年 12 月 16 日）

資料 4 外部相談窓口設置のための天文学会相談フローと内部 CoC 相談窓口

資料 5 日本天文学会若手国際交流研究会基金内規（案）、財務規程（案）、若手国際交流研究会選考委員会委員構成（案）

資料 6 公益社団法人日本天文学会 2026 年度（2026 年 4 月 1 日—2027 年 3 月 31 日）事業計画書

資料 7 収支予算書（案） 2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

資料 8 衛星設計コンテスト推進委員会委員の追加について

資料 9 監事（外部監事として）の追加について

資料 10 第 9 期日本天文学会代議員選挙開票結果報告

資料 11 日本天文学会遊休財産の推移予測

資料 12 日本天文学会理事会 2025 年 12 月 年会実行委員会活動報告

資料 13 PASJ 編集委員会からの報告

資料 14 天文教育委員会

2025年12月22日

会 長： 太田 耕司 印

副会長： 長尾 透 印

副会長： 深川 美里 印

監 事： 熊谷 紫麻見 印